

【小施策評価(平成29年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	1	人がいきいきと暮らすまちづくり	小施策 主管課等	危機管理防災課
施策	8	安全・安心な暮らしの確保	評価 責任者	廣田 喜之 内線 3510
小施策	8-2	地域防災力の強化	評価 シート 作成者	滝村 敏道 内線 3511

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
<p>・自然災害による被害・影響を軽減するため、「自助」、「共助」、「公助」による防災・減災への取組を強化する必要がある。</p> <p>・自然災害をはじめとする住民の安全・安心を脅かす事案が続いていることを踏まえ、あらゆる危機に対応できる危機管理体制の充実を図る必要がある。</p> <p>・市における自主防災組織の組織率は、17年度末の18.0%から27年度末には82.8%と上がってきているが、すべての町内会、自治会等において自主防災組織が結成されるよう、更に促進するとともに、災害時に効果的な活動ができるよう、結成後の継続した訓練などの実施が必要である。</p>	<p>市民の防災意識を高めるために情報の提供を充実させるなど、地域における防災体制を強化する。また、自然災害をはじめ、あらゆる危機に対応できる危機管理体制の充実を図る。</p>
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
市民・事業所	災害による被害を最小限に留める。

小施策の成果指標の達成状況・評価(平成29年度実績)

実績値の推移				実績の評価	
指標	単位	目指す方向	成果点	成果の要因分析	問題点
指標① まちづくり評価アンケート調査「避難場所を知っている」と答えた市民の割合	%	↗	<p>・地域の避難場所等の周知が図られてきている。</p>	<p>・町内会等を対象とした出前講座の実施や、自主防災組織等を中心とする地域での防災・減災への取組が普及してきた。</p>	
当初値 (H25) 69.0			H31目標値 75.0		
			H36目標値 80.0		
指標② まちづくり評価アンケート調査「防災対策をしている」と答えた市民の割合	%	↗	<p>・防災対策をしている人の割合は、半数を超えている。</p>	<p>・町内会等を対象とした出前講座等での学習が結びついている。</p>	
当初値 (H25) 60.7			H31目標値 70.0		
			H36目標値 80.0		
指標③ まちづくり評価アンケート調査「防災訓練に参加する」と答えた市民の割合	%	↗	<p>・総合防災訓練では、開催地域の住民及び小中学校関係者等を中心に参加した。</p> <p>・シェイクアウトでは、学校や職場を中心に参加した。</p> <p>・土砂災害危険箇所を有する地区のうち2箇所で開催訓練を実施した。</p>	<p>・総合防災訓練や土砂災害訓練では、対象地域が限られるため、個別に呼びかけができた。</p> <p>・シェイクアウトでは、学校、職場単位で行うことや、準備が不要で短時間で実施できるため、取組み易かった。</p>	
当初値 (H25) 42.1			H31目標値 51.0		
			H36目標値 60.0		

今後の方向性(平成30年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	<p>★…30年度着手済または着手予定</p> <p>☆…31年度以降の着手を検討</p>
<p>★ 町内会等の活動に参加していない市民にも避難場所等を周知するため、「防災マップ」を全世帯に配布する。</p> <p>★ 避難場所等を知る機会を作るため、市民参加型の総合防災訓練やシェイクアウト、土砂災害訓練の継続と充実を図る。</p> <p>★ 自主防災組織の活動を強化し、地域における避難場所等の周知を促進する。</p> <p>★ 避難場所等を知る機会を作るため、出前講座や説明会の充実を図る。</p> <p>★ 避難場所等標示板の設置を促進し、周知を図る。</p> <p>☆1 避難場所等を知り、災害時の行動を考えてもらうため、自分の住む地域を対象とした防災計画を地域主体で作成することを推進する。</p> <p>☆2 地域毎に「防災マップ」使い方説明会を実施し、避難場所等を周知を進める。</p>	
<p>★ 防災に関する知識を高めるため、「防災マップ」を全世帯に配布する。</p> <p>★ 防災意識を高めるため、市民参加型の総合防災訓練やシェイクアウト、土砂災害訓練の継続と充実を図る。</p> <p>★ 地域住民に対する防災対策の啓発を図るため、自主防災組織の活動を強化する。</p> <p>★ 防災対策の必要性に対する理解浸透を図るため、出前講座や説明会の充実を図る。</p> <p>☆1 自分に必要な防災対策を具体的に考えてもらうため、自分の住む地域を対象とした防災計画を地域主体で作成することを推進する。</p> <p>☆2 防災対策の必要性と自分に必要な防災対策を考えてもらうため、地域毎に「防災マップ」使い方説明会を実施する。</p> <p>☆3 職場における防災対策を向上させるため、企業向け出前講座を実施する。</p>	
<p>★ 訓練参加の機会を作るため、市民参加型の総合防災訓練やシェイクアウト、土砂災害訓練の継続と充実を図る。</p> <p>★ 防災訓練の重要性の理解浸透を図るため、自主防災組織の活動を強化する。</p> <p>☆1 地域ぐるみで防災活動への参加を促すため、自分の住む地域を対象とした防災計画を地域主体で作成を推進する。</p> <p>☆2 災害時を想定して実際に行動してみることの重要性を理解してもらうため、地域毎に「防災マップ」使い方説明会を実施し、避難場所等を周知を進める。</p>	

実績値の推移				実績の評価															
指標④ 町内会・コミュニティの自主防災組織率		単 位	目指す方向	成 果 点	成果の要因分析														
当初値 (H25)	78.5	%	↗																
H31目標値	90.0																		
H36目標値	100.0																		
<table border="1"> <caption>実績値の推移 (線グラフ)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>当初値 (H25)</td><td>78.5</td></tr> <tr><td>H27</td><td>82.8</td></tr> <tr><td>H28</td><td>85.3</td></tr> <tr><td>H29</td><td>88.6</td></tr> <tr><td>H31目標値</td><td>90.0</td></tr> <tr><td>H36目標値</td><td>100.0</td></tr> </tbody> </table>				年度	実績値 (%)	当初値 (H25)	78.5	H27	82.8	H28	85.3	H29	88.6	H31目標値	90.0	H36目標値	100.0	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織を結成する町内会等が増加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防対策室に自主防災推進員2名を配置し、地域の自主防災組織の結成・育成に力を入れている。
年度	実績値 (%)																		
当初値 (H25)	78.5																		
H27	82.8																		
H28	85.3																		
H29	88.6																		
H31目標値	90.0																		
H36目標値	100.0																		
				問 題 点	問題の要因分析														
				<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織が結成されていない町内会等が依然として残っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「共助」に対する理解不足が考えられる。 ・地域の防災リーダーの担い手不足と高齢化も要因のひとつと考えられる。 														

評価を踏まえた取組の方向性

★…30年度着手済または着手予定
☆…31年度以降の着手を検討

★ 自主防災組織の結成を促進するため、未結成の町内会・自治会等に直接働きかけを行うとともに、結成済組織の育成を図るため、研修を実施する。